



石 二 小 だ よ り

50 日間の第 3 学期がスタート！

2020年がスタートしました。8日に第3学期始業式を行い児童の元気な顔を見ることができました。

校長講話では、「夢に向かってチャンス・チャレンジ・チャレンジ」と題し、夢を追いかける際に大切にしてほしい3つのことを、イチロー選手、スピードスケート選手や合唱作曲家の弓削田健介氏のエピソードを交えながら伝えました。3つの大切なことは以下のとおりです。

- ① 夢はいくつあってもいい
- ② 夢は変わってもいい
- ③ 夢は誰かと一緒に追いかけていい

続いて、各学級の代表が「冬休みの思い出と3学期のめあて」を発表しました。有意義な冬休みだったことが伝わってきました。



第3学期始業式における児童発表：各学級1名



生徒指導主事「良いおみやげと悪いおみやげ」の話

みんな大きくなりました！ ～身体計測とミニ講話～



くしゃみをしたときにウイルスの飛ぶ距離を教えている養護教諭

学期の始めに、必ず身体計測を行います。測るのは身長と体重です。その機会をとらえて、養護教諭から「健康についてのミニ講話」が必ず行われます。健康について改めて考えるいい機会となっています。このあと、4年生以上は「自分手帳」に自分の成長の記録を記入します。

また、保健室にいるペッパーは健康に関するニュースやクイズを提示するようプログラミングされています。来室した児童が楽しく見えています。



またまたまたまたまたまたまた、子どもたちの努力が実りました！

第344回 算数検定合格者

6級 (小学校6年程度)	6年 岡田	6年 高木	6年 渡辺
7級 (小学校5年程度)	5年 羅		

今年度よりスタートした「算数チャレンジクラブ」は、7月から11月まで活動しました。週2回程度、放課後に算数の問題を解く喜びを味わってきました。外部試験にも2回ほどチャレンジしました。「福島県算数・数学ジュニアオリンピック」と「算数検定」です。前者では1名が奨励賞を受賞しました。後者は上記のように4名の合格者が出ました。来年度はもう少し参加者を多くし、子どもの興味関心や個性を伸ばしていきたいと考えています。

ぼくは、昨年に引き続き算数・数学ジュニアオリンピックに参加しました。今年は「奨励賞」をもらうことができました。とてもびっくりしましたが、それ以上にうれしかったです。

ジュニアオリンピックに向けて、算数チャレンジクラブで過去問に挑戦したり、自主学習で勉強したりした結果だと思います。

中学生になっても、友達と一緒に参加して、来年は100点をとりたいです。

6年 岡田

わたしは、初めて算数検定を受けました。できなかった問題もあったけど、あきらめずにがんばって合格しました。とってもうれしかったです。

初めて算数検定を受けてとてもうきうきしました。来年も算数チャレンジクラブに入って、また新しいことをいっぱい学びたいです。

算数はとても楽しくておもしろいです。わたしは算数が大好きです。

5年 羅

市学力テスト（国語・算数）に取り組みました！



初めての学力テスト1年1組



1年2組

今週、各学年で身に付けるべき学力がどの程度身に付いているかを確かめる学力テストを行いました。教科は国語と算数です。これまでの努力の成果を発揮して、精一杯取り組みました。左の写真は、1年生の様子です。入学して約9ヶ月、こんなに成長しました。

4年生：サイエンスラボ出前授業「冬の星座」

1月9日に、4年生は「冬の星座」について学習しました。講師は、サイエンスラボ南相馬の齋藤さんです。

理科には、太陽・月・星などについての学習がありますが、実際に見たり、調べたりすることが難しい内容のため、なかなかその仕組みを理解することができません。

今回は、電球を太陽に見立て、地球に光を当てて、夜と昼がおきる理由を実感を伴って理解しました。その他、月の満ち欠けや星座についても、体を使って学びました。

